

いばらきネットモニター (通学路、生活道路における児童・生徒の安全確保について) 結果

1 調査目的

通学路、生活道路の児童・生徒の交通安全の確保について意識調査を行い、今後の警察活動に生かすために実施しました。

2 結果の概要

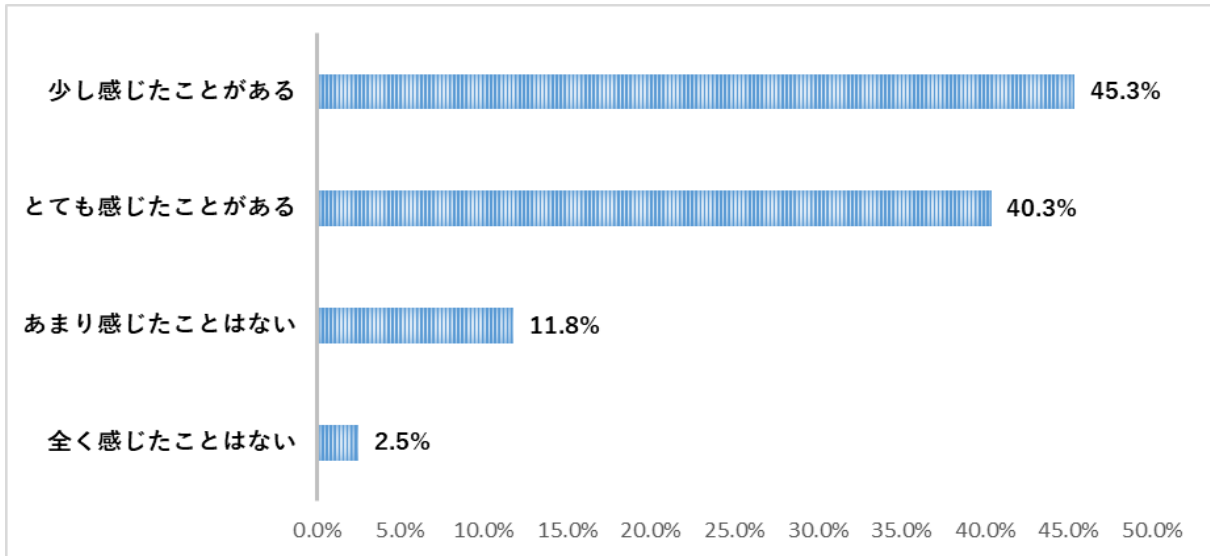
・回答者の9割弱が、通学路、生活道路において交通事故になりうる場面に不安を感じたことがあり、不安を感じた場面として最も多かったのが、「通学路でスピードを出す車がいたとき」(21.5%)、次いで「縁石やガードパイプなどで区分されていない歩道」(20.7%)、「横断歩道に歩行者がいても停止しない車がいたとき」(18.6%)、「歩行者と自転車が混在する歩道」(18.5)%と続いた。

また、不安を感じた場面に対し求める対応として最も多かったのは、「安心して通行できる歩道の確保や整備」(53.6%)、次いで「児童・生徒への交通安全教育」(13.9%)、「警察車両によるパトロール」(11.6%)であった。

【問1】（通学路、生活道路における不安）

あなたは、お住いの地域の通学路や生活道路を通行している際、児童・生徒等が交通事故に遭うといった不安を感じたことはありますか。次の中からあてはまるものを1つ選んで下さい。

(n=1202)

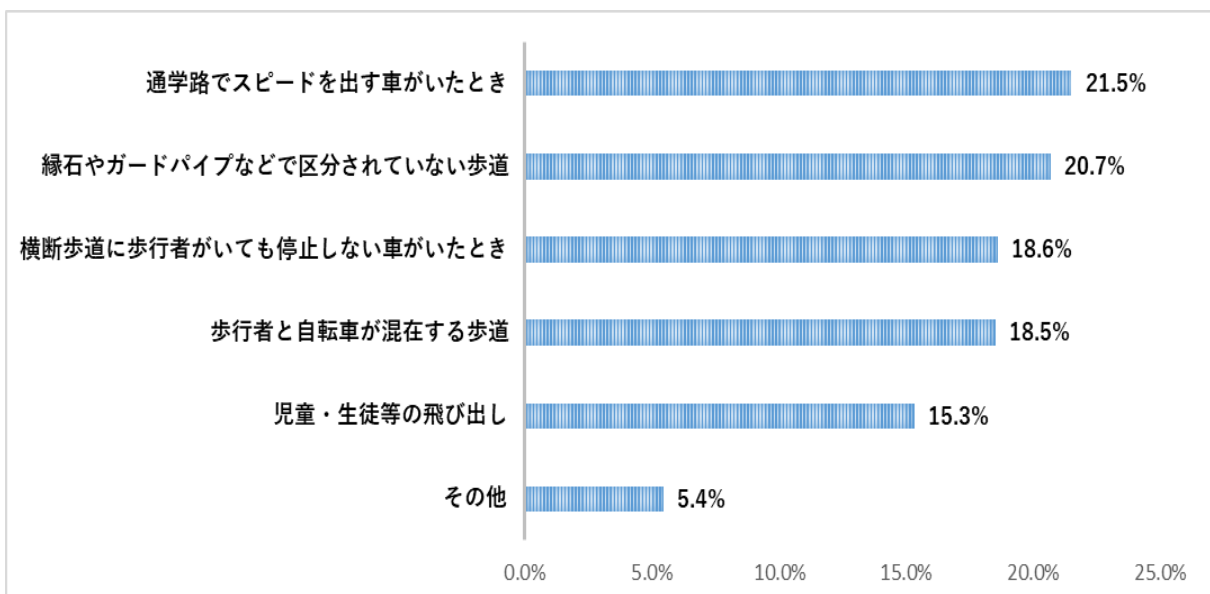


○「とても感じたことがある」40.3%、「少し感じたことがある」45.3%を合わせた【感じたことがある】と回答した割合は 85.7%（1,030 人）で、「あまり感じたことはない」11.8%「全く感じたことはない」2.5%を合わせた【感じたことはない】と回答した割合は 14.3%（172 人）であった。

【問2】（不安を感じた場面）

あなたは、どのような場面や場所で不安を感じましたか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

(n=2,960)



○「通学路でスピードを出す車がいたとき」と回答した割合が 21.5%と最も高く、次いで「縁石やガードパイプなどで区分されていない歩道」が 20.7%であった。

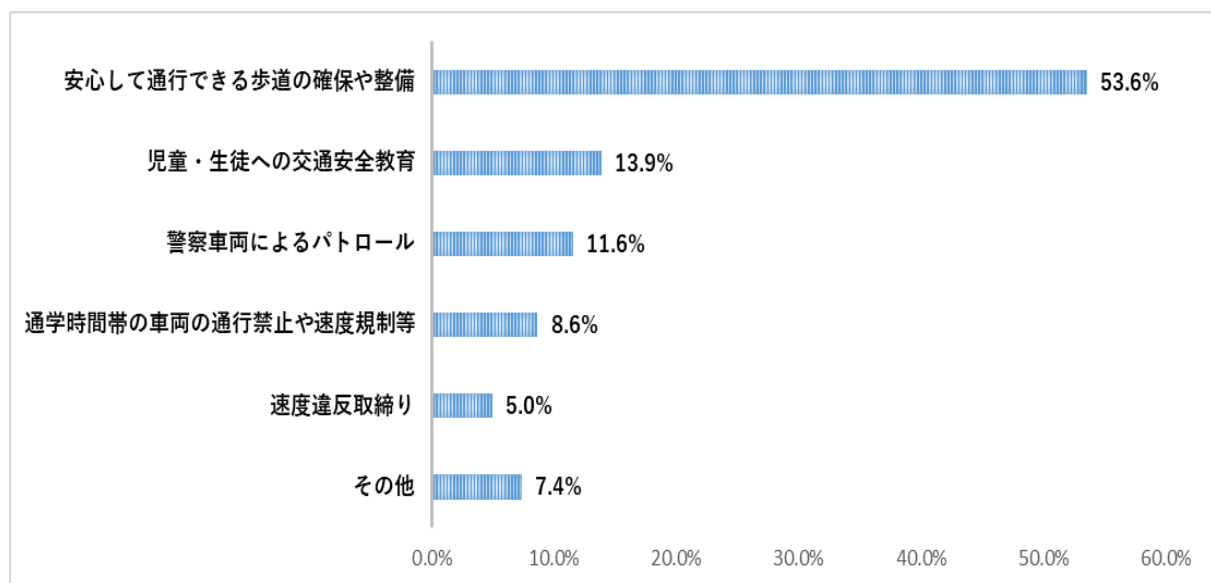
○「その他」(5.4%)として、次のような意見が挙げられた(計 161 件)。

- ・狭い道路を車や自転車、歩行者が通っているとき
- ・交通ルールを守らない車や自転車、歩行者がいるとき

【問 3】(求める対応)

あなたは、不安を感じる場面や場所についてどのような対応を望んでいますか。次の中からあてはまるものを 1 つ選んでください。

(n=1030)



○「安心して通行できる歩道の確保や整備」と回答した割合が 53.6%と最も高く、次いで「児童・生徒への交通安全教育」が 13.9%であった。

○「その他」(7.4%)として、次のような意見が挙げられた(計 76 件)。

- ・道路の拡幅やガードレールなどの整備
- ・車の運転手などの児童・生徒以外への交通安全教育

3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

・通学路、生活道路を利用する県民の要望及び交通実態に応じた交通指導取締りを推進していくとともに、道路管理者等と連携し、児童・生徒の安全に資する交通環境の整備等について検討していく。

・交通指導取締りの実施状況等について、SNS 等を活用した効果的な情報発信を推進していく。

・本調査の結果について、通学路、生活道路における児童・生徒の交通安全確保施策の実施にあたり、参考資料として使用する。

4 調査の概要

(1) 調査形態

調 査 時 期：2026 年 5 月 18 日 ～ 2026 年 5 月 31 日

調 査 方 法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モ ニ タ ー 数：1,685 名

回 収 率：71.3%（回収数：1202 名）

回答者の属性：以下の通り

		人数（人）	割合（％）
全体（n）		1,202	100.0
地域別	県北	100	8.3
	県央	384	31.9
	鹿行	63	5.2
	県南	377	31.4
	県西	96	8.0
	県外	182	15.1
性別	男性	520	43.3
	女性	682	56.7
年齢別	16～19 歳	6	0.5
	20～29 歳	49	4.1
	30～39 歳	153	12.7
	40～49 歳	286	23.8
	50～59 歳	334	27.8
	60～69 歳	242	20.1
	70 歳以上	132	11.0
職業別	自営業	88	7.3
	会社員	464	38.6
	団体職員	47	3.9
	公務員	60	5.0
	主婦・主夫	243	20.2
	学生	17	1.4
	無職	145	12.1
	その他	138	11.5

(2) 担当課

茨城県交通部交通指導課

電話：029-301-0110

E-mail：keikousi@pref.ibaraki.lg.jp

（注）割合を百分率で表示する場合は、小数点第 2 位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の割合の合計と全体を示す数値が一致しないことがある。

また、図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。